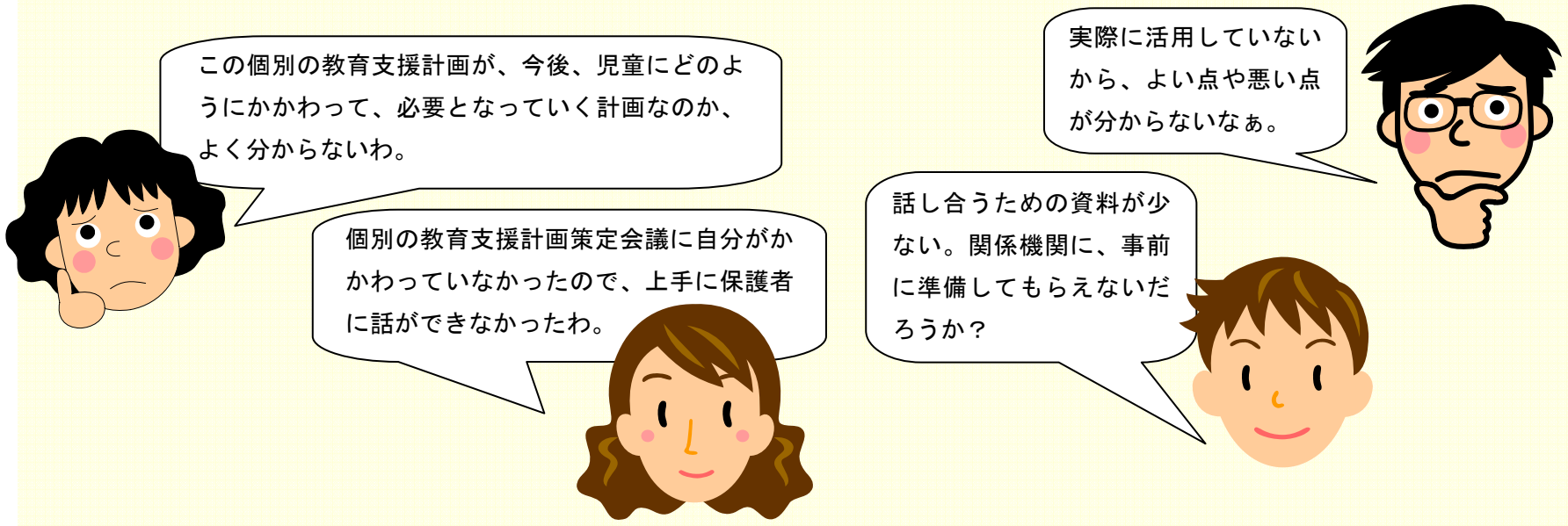


地域と家庭と学校をつなぐ個別の教育支援計画を目指して

— 書式の改訂と個別の教育支援計画策定会議運営の取組から —

特別支援教育班 須田 裕 (特別支援学校教諭)



【 個別の教育支援計画書式の改訂に関して 】

- 見やすく、「連携」・「活用」しやすい書式に改訂していく。
- ①設定スパンの統一
 - ・3年間を見通したものにします。
- ②内容の精選
 - ・項目のスリム化と実用性を高める。(レイアウト、目標欄、評価欄など。)

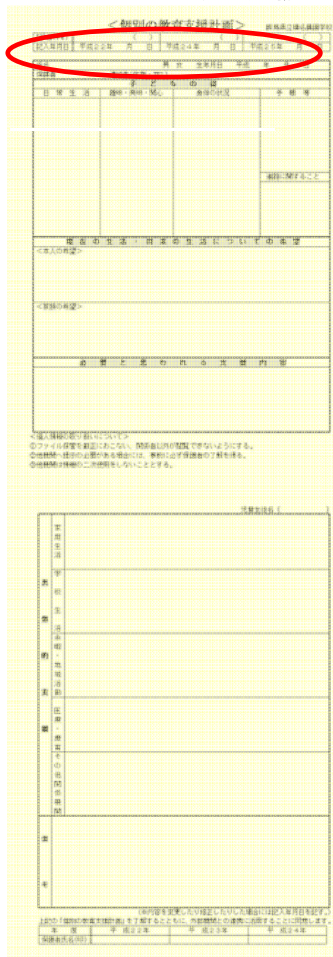
連携
・
活用

【 個別の教育支援計画策定会議に関して 】

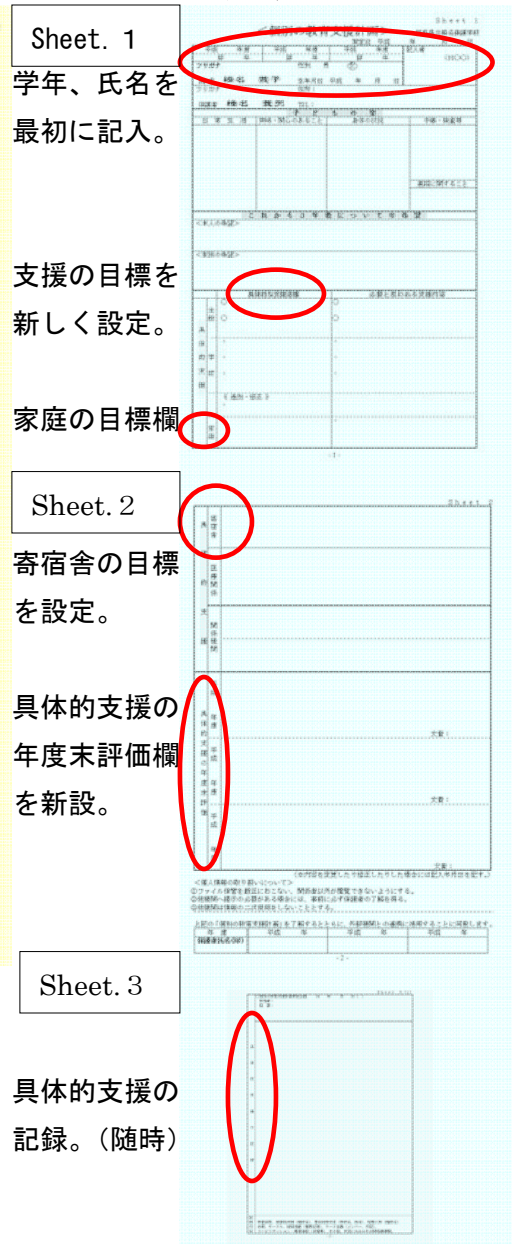
- ・個別の教育支援計画策定会議と地域支援ネットワーク会議との違いが不明確なので、分かるようなパンフレットを作成する。
- ・福祉サービスの利用の仕方や行政との顔合わせで終始してしまっている策定会議を、具体的な支援を話し合う場として機能するようにする。

地域と家庭と学校をつなぐツール

現在の個別の教育支援計画



今回改訂した書式



Sheet. 3を新設。関係機関との連携、サービスの利用時に記入する。

○ 個別の教育支援計画の書式改訂に関して ○

- ・家族の希望欄は、項目を設定（コミュニケーション、余暇他）して、考えやすくした。さらに、書式の改訂や個別の教育支援計画策定会議についての保護者向けパンフレットを作成した。(※1)
- ・教師向けには、理論編(※2)と記入の手引き(※3)の2種類のパンフレットを作成し、変更の利点や活用の仕方について説明した。
- ・具体的な支援の目標とそれに対する年度末評価を新設したことにより、P-D-C-Aのサイクルとしても、目標への到達度が分かりやすくなった。



※1
保護者向け
パンフレット



※2
職員向け
パンフレット (理論編)



※3
職員向け
記入の手引き

○ 個別の教育支援計画策定会議の運営に関して ○

個別の教育支援計画策定会議では、具体的な支援について、学校、家庭、行政、福祉の面からどんなことができるかを話し合う会議にするために、福祉サービスの利用を考えている家庭には、事前に障害区分認定(支給決定)について相談していく。